

見つける 思い出話で認知症予防
ミッケルアート[®]



☘ 認定研修ノート ☘

ミッケルアート回想療法士1級
～ 認知機能編 ～

☘ お問い合わせ先 ☘

TEL 053-474-5717 (9時～19時)
shop@sprayart-xin.com (24時間受付)



研修内容

🍀 研修の目的 「現場のミッケルアート リーダーとなること」

リーダーとしてマニュアルを理解し、スタッフのフォロー、認知症の数値評価、困った時の対応ができるようになることを目的としています。

🌸 認定研修の内容

通信教育制です。基礎編では、ミッケルアートのマニュアルや活用方法、スタッフのフォロー方法を学び、実践編では、「認知機能の数値評価」を学びます。



資格取得までの流れ

スケジュール

※開始月は受講者の任意で設定できます。

	スケジュール	
基礎編	【基礎編】 5月1日 ～5月15日	認定研修ノート、マニュアル、説明動画を確認して、基礎編を学びます。
実践編	【実践編】 開始月 月末 2週間 5月15日 ～5月31日	絵を使わない 次に評価対象者 2 名を選びます。 2 週間ミッケルアートは実施しません。 2 週間に4日間分、普段の様子を記録します。 ※1
	1ヶ月目 ～3ヶ月目 6月1日 ～8月31日	絵を使う 評価対象者2名に、3ヶ月間ミッケルアートを実施します。 1か月間に8日分、計24日分、普段の様子を記録します。
	4ヶ月目 9月1日 ～10月31日	絵を使わない 評価対象者2名に1か月間ミッケルアートを実施しません。 1か月間に8日分、普段の様子を記録します。
	その後 11月1日～	① 評価エクセルをメールで提出します。 ➔ 資格取得となり、認定証が発行されます。

※1 記録する時間帯は、ミッケルアートを行う予定の時間帯を記録します。

🍀 研修について

研修を始める前に以下の内容をご確認ください。

🌻 ミッケルアートレンタル契約中であれば、いつでも再スタートが無料でできます

途中で中止した場合、再スタートすることができます。もし再スタートをされる場合は、ノートの日付を書き変えてご利用ください。弊社への再スタートに関するご報告は不要です。

🌸 研修データ・個人情報

- ・株式会社スプレーアートイグジンが、個人情報保護法に基づき管理します。
- ・研修データは、個人情報を除き、HP・学会等に発表する場合があります。
- ・研修データは、受講者自ら学会発表等に使用することができます。



🌺 研修で使うもの

データで支給します



認定研修ノート



マニュアル



評価エクセル



説明動画

ここをクリックするとWEBページが開きます。
<https://www.mikkelart.com/lecture-care>

個人情報の取り扱いについて

1. 個人情報保護に関する法令、国が定める指針、その他の規範を遵守します。
2. 個人情報の利用目的を明示し、適切に個人情報の取得、利用および提供を行います。取得した個人情報は、法令で定める場合を除き、明示した利用目的の範囲内でのみ利用します。
3. 取得した個人情報は、法令で定める場合を除き、本人の同意なしに第三者への提供は行いません。
4. 個人情報保護に関して、組織的、物理的、人的、技術的に適切な対策を実施し、安全管理措置を行います。
5. 個人情報保護に関するルールを策定、周知し、個人情報を適切に取り扱うよう教育、啓発を行います。
6. 個人情報の取り扱い、管理体制および取り組みに関する点検を実施し、継続的に改善・見直しを行います。
7. 外部委託を行う際には、適格性を十分に審査し、情報管理を徹底するよう指導、監督します。
8. 本人の求めによる個人情報の開示、訂正、追加、削除、もしくは利用目的の通知を法令に従い行うとともに、ご意見、ご相談に関して適切に対応します。

静岡大学発ベンチャー企業
株式会社スプレーアートイグジン
代表取締役 橋口論
TEL 053-474-5717



基礎編 ～ ミッケルアートの理解を深めよう♪ ～

基礎編の目的は、マニュアルを理解することです。以下の場合、あなたならどのように対応しますか？マニュアルを見ながら確認してください。この質問は修了レポートとして出題されます。

※修了レポートは、実践編で活用する評価エクセル内に記載されています。



Q1 ミッケルアートを使ってコミュニケーションをとる上では、どのようなことが大切であると感じましたか？

Q2 ミッケルアートを行う上で、ご利用者様との会話を広げるためには、どのようなことが大切だと感じましたか？

Q3 事業所のスタッフにミッケルアートを広める上で、あなたはどのようなこと実践しますか？

Q4 あなたの現場に介護未経験の職員が入社した場合、どのようにミッケルアートを説明しますか？

Q5 (Q4に続いて)説明の際に、あなたはどのような点に注意しますか？

Q6 (Q5に続いて)説明の際に、どの資料を活用しますか？



Q7 会話の苦手なスタッフがいる場合、どのようにミッケルアートを教えますか？



Q8 その際に、どのような点に注意しますか？2つ記入してください。

Q9 何事にも意欲・感情がないご利用者様がいた場合、どのようにミッケルアートを活用しますか？

基礎編 ～ CBAの理解を深めよう♪ ～

手順1 CBAとは



本書の末尾にある「付録CBAフローチャート記録用紙」の内容を確認しましょう。

認知関連行動アセスメント (CBA)

氏名 ()
検査日 ()

■評価点

聴識	感情	注意	記憶	判断	病識	合計

■重症度

重症度	重度	中等度	軽度	良好
6-9	10-15	16-21	22-27	28-30

■コメント

cba-ninchikanrenkoudou.com



本書のCBAに関する資料は、cba-ninchikanrenkoudou.com より引用しております。CBAは、森田秋子氏により開発されたスケールです。

手順2 実際のご利用者対象にCBAを使ってみましょう

3名のご利用者様を対象に、CBAをつかってみましょう。この際に、自分以外のスタッフ1名も一緒に同じ評価対象者を評価してください。

※この評価結果は、提出する必要はありません。

手順3 あなた（受講者）と他のスタッフとの点数差を話し合う

2名で同じ評価対象者を評価すると、スタッフによって1～3点の個人差が出てきます。その差を話し合っ、認識を一致させましょう。

※この評価結果は、提出する必要はありません。

手順4 評価対象者を2名決める

評価対象者を2名選んでください。詳細は、次のページへ♪



実践編の進め方

① 2名の評価対象者を選びます



■ 条件

- ① CBAが23点以上28点以下の方を対象にしてください。
- ② ミッケルアートにおおよそ月8回参加できる方です。

記入例 A.K 様 、 CBA 25点

A _____ 様 、 CBA () 点

B _____ 様 、 CBA () 点



★ポイント

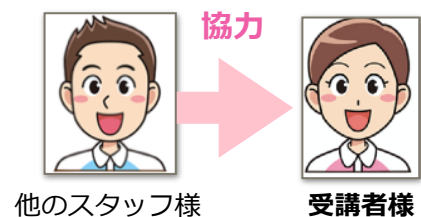
軽度の方を対象者にされるとスムーズに進めることができます。重度の認知症の方は、限られた期間ですと改善を示す数値が出にくいケースがあります。

【重要】認定の基準

- ・必ず最初から最後まで同じ評価対象者で記録を行ってください。
- ・評価を開始して1ヶ月以内に、評価対象者がやむを得ずミッケルアートを実施することが難しくなった場合は、新規で評価対象者を追加してください。
- ・評価を開始して1ヶ月以降に、評価対象者がやむを得ずミッケルアートを実施することが難しくなった場合は、評価を中断してください。新規で評価対象者を追加する必要はありません。
- ・受講者の自己都合で評価が継続できなくなった場合は、認定することができません。
- ・ミッケルアート契約期間中は、再スタートは無料です。(参照P3)

✿ 研修をスムーズに修了するコツ

他のスタッフ様とのチームワークが重要になります。受講者自らが毎回ミッケルアートの実施者になる必要はありません。他のスタッフ様にもミッケルアートを実施してもらい、その結果を受講者がまとめるなどして進めるとよいでしょう。他のスタッフ様もご利用者様の変化に気づきやすく、より良いケアへとつながることが期待されます。



実践編の進め方

② 4ヶ月半の記録をします

「評価エクセル」ファイルを使用して、3種類のエクセルシートに記録をしていきます。詳しい入力方法は「評価エクセルの使い方」をご覧ください。

※すべてのシートを印刷し4ヶ月半の評価を記入してからエクセルへ入力する方法と、印刷せずに毎回エクセルに入力していく方法、どちらでも構いません。やりやすい方法で入力してください。

1) 日誌を書く

事前調査 … 4日分

ミッケルアート実施月 … 8日分 ミッケルアートを実施した時の様子を記録

ミッケルアート未実施月 … 8日分 ミッケルアートを実施していた時間帯の様子

2) 評価をする

月末に、評価対象者お一人に対し、認知機能の数値計画を計4回行い記録します。

1回目 … 事前調査開始月

2回目 … 評価開始1ヶ月目

3回目 … 評価開始3ヶ月目

4回目 … 評価開始4ヶ月目

3) 総合評価をする

ケアを振り返り、総合的な評価を記録します。

4) 修了レポートを入力し、評価エクセルをメールで送付する

メール送信先 shop@sprayart-xin.com (24時間受付)

5) 修了通知と認定証発行

内容を確認し、5日以内にメールで修了通知を致します。

認定証は、約1ヶ月以内に郵送致します。今後の流れについては、認定証の送付に同封致します。



よくあるご質問

Q.1 ミッケルアート契約中であればいつでも再スタートが無料でできるとありますが、どんな理由でも再スタートができるのでしょうか？

A. 再スタートに関する報告は不要なので、自己都合であっても利用者様のご都合であってもスタートできます。

Q.2 認定研修期間中、ミッケルアートの実施は、評価対象者だけで行いますか？

A. 評価対象者以外に行っても構いません。

例) 6名のご利用者様がミッケルアートに参加して、そのうち2名が評価対象者など

Q.3 評価対象者を選ぶ条件として2つ記載がありますが、2つとも満たす方でないといけませんか？

A. 2つの条件を両方満たす方を評価対象者とするを基本としてください。ただし、事業所様で条件を満たさない方を選びたい理由がある場合は、選んで頂いて構いません。その場合、弊社への報告は不要です。

Q.4 評価対象者の方が、ミッケルアート実施予定日に体調を崩し、参加できない場合はどうしたらいいですか？

A. 「日誌を書く」欄に、「体調不良のため参加できず」と記入してください。

Q.5 ミッケルアートを実施しない月に、ご利用者様にやりたいと言われた場合はどうすればいいですか？

A. 事業所様の判断でミッケルアートを実施して構いません。この期間にミッケルアートを実施する際には、「日誌を書く」の部分に、「ミッケルアート実施」と記入してください。

本来は、これまでに集めた情報をもとに、利用者様のやりたい活動に取り組んでいただく期間です。

しかし、ご利用者様の意向を中心とされることも大切です。

Q.6 8日以上ミッケルアートを実施しても大丈夫ですか？

A. 利用者様が楽しまれているのであれば、実施しても大丈夫です。

Q.7 記録終了後、どれくらいまでにエクセルを提出しなくてはなりませんか？

A. 業務のご負担にならない範囲で、すみやかにご提出ください。通常は、1ヶ月以内で皆様ご提出されております。

Q.8 受講者が異動になりました。他のスタッフが引き継ぐことはできますか？

A. 受講者は、途中で変更することはできません。受講者を変える場合は、新規に再スタートしていただきます。

Q.9 修了レポートのエクセルを入力する際に、既定の枠（セル）をはみ出してしまいます。文字のサイズをこちらで変更しても良いですか？

A. フォントサイズの変更はしていただいても構いませんが、エクセル上に文字が表示されていないでも弊社の方で入力されている文字は確認できますので特に変更されなくても大丈夫です。

Q.10 日誌を書くときに●○△の記号を付けてはいますが、全部の記号を使わないといけませんか？

A. 当てはまる記号のみの使用で構いません。

Q.11 評価エクセルの提出が遅いと無効になってしまいますか？

A. 提出期限はございませんので無効にはなりません。記録が終わったらすみやかに提出するようお願い致します。

Q.12 修了レポートの内容は合否を左右しますか？何点以上が合格でしょうか？

A. 修了レポートは基礎編(テキスト)及び実践から答えられる内容になっています。テキストを見ながら回答して頂いて構いません。点数制ではありませんが、修了レポートの内容が合格基準に達していない場合は、再提出となります。合否の基準は非公開とさせていただきます。

見本 『 日誌を書く 』 ～開始前の2週間～

🍀 評価対象者 A様のプロフィール (例) 🍀

介護度5 ・ 認知症自立度 IV ・ 寝たきり度 B2

- ・ 痛風で歩行困難、くも膜下出血後
- ・ 胸椎圧迫骨折の為、入院。
- ・ その後、自宅での介護は困難な為、施設に入所。
- ・ 長谷川式HDS-R 6点

本見本は、周辺症状の数値評価の結果を掲載しております。
軽度者の事例は、編集中です。



5月15日 ~ 5月30日

ミッケルアートを使わずに、普段の様子を4日分、記録します。

月/日	観察開始時間	観察時間(分)	その時の具体的な様子や場面	影響を与えていると考えられること	評価対象者の願い 支援して欲しいこと
/	10:00	20	○ウトウトと居眠りをしている。	○夜間あまり眠られていなかった。	○しっかりと夜間に良眠して頂き、日中活動的に生活して欲しい。
/	16:00	20	○服を脱いでいる。	●暖房がかかっている為、暑いと話していた。	○TPOに応じた服装で過ごせる様になって欲しい。
/	15:00	20	●整形受診時、「右足が動きにくいんですが、今の所大丈夫です。」と話す。	○入所以前より、両変形性膝関節症の既往がある為。	○足をフットレストの外側に出す事があるので、しっかりと定位置に足を置いておける様になって欲しい。
/	10:00	20	○夜間、不眠。ベッド上で動き朝まで眠られない。	○昼夜逆転傾向で、日中ウトウトしていた。	○日中の活動性を高め夜間良眠して、規則正しい生活を送って欲しい。
			会話・行動を記録します	その原因を考えます	改善点を考えます

記号の意味

- 評価対象者が言ったこと、△ 家族が言ったこと、○ ケア者が気づいたこと

見本 『 日誌を書く 』 ～ミッケルアート開始1ヶ月目～

※映像版を使用の場合、「絵のNo.」には映像のタイトルを入力してください。

6月1日 ～ 6月30日

1ヶ月目

ミッケルアートを使って、その時の様子を8日分、記録します。

月/日	観察開始時間	観察時間(分)	その時の具体的な様子や場面	影響を与えていると考えられること	評価対象者の願い 支援して欲しいこと
/	10:00	20	●「ええなー、昔は、水間寺とか参ったわ。」笑顔で昔の正月の過ごし方を話される。	○時期がお正月で、適した絵であった為に、話が広がりやすかった。	●初詣に行きたい。
使用した絵のNO.5021					
/	10:00	20	●「まあー、可愛らしいなー」と、わが子の子供の頃の事を話される。	○以前、子育ては、大変だけど、一番いい頃だったと話していた。	△楽しそうな笑顔を見るとホッとします。
5063					
/	9:30	20	●「昔は井戸で水汲んで洗濯もんとかしたんやで。」当時の様子を少し自慢げに話す。	○教えて頂く姿勢・傾聴の姿勢がうまくとれ、自尊心を刺激出来た。	聞き出せず
5072					
/	10:00	20	●「あらー、おいしそうなの食べてるわ。」	○朝食から時間も経ち空腹になってきたので、食べ物を書いた絵は会話が広がりやすい。	●おいしい物食べたい。
5103					
/	10:00	20	●「おせちもよーけ作ったけど、大変やったわ。」	○苦労した事等は、強く印象に残っているのか、沢山話される。	聞き出せず
5021					
/	16:00	20	●「うちはな、2人男の子おっとな、喧嘩したり大変やった。」	○前回同様苦労した話は、沢山話される。	△楽しそうな笑顔を見るとホッとします。
5063					
/	10:00	20	●「また、料理してみたいな」	○野菜を洗っている絵から、希望を話される。	●料理をしてみたい。
5072					
/	10:00	20	●「おいしそうなお魚。食べたいな。」	○食べ物の絵に関心を示される事が多い。	●おいしい物を食べたい。
5103					
			会話・行動を記録します	その原因を考えます	改善点を考えます

記録方法

- ・文章の始まりには、次の記号をつけます。
- ・●評価対象者が言ったこと、△家族が言ったこと、○ケア者が気づいたこと

見本 『 日誌を書く 』 ～ミッケルアート開始2ヶ月目～

7月1日 ～ 7月31日

※映像版を使用の場合、「絵のNo.」には
映像のタイトルを入力してください。

2ヶ月目

ミッケルアートを使って、その時の様子を8日分、記録します。

月/日	観察開始時間	観察時間(分)	その時の具体的な様子や場面	影響を与えていると考えられること	評価対象者の願い 支援して欲しいこと
/	10:00	20	●「昔は歌とかよ一聞いたわ。」	○笑顔で過ごされる時間が増えてきた。	●「歌とか聞きたい。」
		5009	使用した絵のNO		
/	10:00	20	●「お風呂入りたなったわ。」	○笑顔で過ごされる時間が増えてきた。	●入浴したい。
		5020			
/	16:00	20	●「縄跳びは小さいころにやったわ。あんまり上手じゃなかったけど」	○楽しそうに会話される事が多くなった。	△楽しそうな笑顔を見るとホッとします。
		5050			
/	10:00	20	●「めはりずし美味しいな、一緒に食べよか。」	○楽しそうに会話される事が多くなった。	●美味しい物が食べたいと希望が多い。
		5066			
/	10:00	20	●「見たことあるけど、誰かよ一思い出さんわ。」	○人物の記憶がなかなか出ず、思い出す事も困難。	●「しっかりせなあかんなあ」
		5009			
/	16:00	20	●「子どものとき、銭湯に行ったことあるわ。」	○続けていく事で、回想が上手に出来る様になった。	●お風呂に入りたくなった。
		5020			
/	9:30	20	●「可愛い子どもがよーさん描いてるわ。」	○子どもが好きな為、会話が広がりやすかった。	●子どもと触れ合いたい。
		5050			
/	10:30	20	●「おにぎりおいしそうやね、食べたいわ。」	○食事の絵は、食事前の空腹時に行くと効果的。	●早くご飯食べたい。
		5020			
			会話・行動を記録します	その原因を考えます	改善点を考えます

記録方法

- ・文章の始まりには、次の記号をつけます。
- ・●評価対象者が言ったこと、△家族が言ったこと、○ケア者が気づいたこと

見本 『 日誌を書く 』 ～ミッケルアート開始3ヶ月目～

※映像版を使用の場合、「絵のNo.」には
映像のタイトルを入力してください。

8月1日 ～ 8月31日

3ヶ月目 ミッケルアートを使って、その時の様子を8日分、記録します。

月/日	観察開始時間	観察時間(分)	その時の具体的な様子や場面	影響を与えていると考えられること	評価対象者の願い支援して欲しいこと
/	10:00	20	●「まあ、綺麗な桜の絵、はよ温くなって欲しいなあ」	○笑顔で穏やかに過ごされる事が増えてきた。	●穏やかに過ごしたい。
使用した絵のNO.1018					
/	10:00	20	●「まあー可愛らしいなー」	○子どもが好きなので、子どもが主体のミッケルアートは喜ばれる。	●楽しく過ごしたい。
5145					
/	16:00	20	●「マルバツゲームはした事あるよ、一緒にしよか。」	○子どもが好きなので、子どもが主体のミッケルアートは喜ばれる。	●楽しく過ごしたい。
5050					
/	16:00	20	●「可愛らしいイガグリ坊主が並んでるわ」	○子どもが好きなので、子どもが主体のミッケルアートは喜ばれる。	●楽しく過ごしたい。
5149					
/	10:00	20	●「もうすぐ桜が咲くかな、今年も見たいなあ」	○関係性が出来ているので、会話が広がりやすかった。	●桜が見たい。
1018					
/	10:00	20	●「上手に泥団子作れるんやで、見したるか」	○聴く姿勢で対応しているので、自尊心が刺激され、自慢げに話された。	●泥団子作ってみたい。
5145					
/	10:00	20	●「一緒に遊ぼか」	○遊びの話をしたので、遊びたくなった様子。	●一緒に遊びたい。
5047					
/	10:00	20	●「昔にうちの家にツバメの巣あった事あるわ、可愛かったで」	○回数を重ねたので回想が上手になった。	●楽しく過ごしたい。
5149					
			会話・行動を記録します	その原因を考えます	改善点を考えます

記録方法

- ・文章の始まりには、次の記号をつけます。
- ・●評価対象者が言ったこと、△家族が言ったこと、○ケア者が気づいたこと

見本 『 日誌を書く 』 ～ミッケルアート開始4ヶ月目～

9月1日 ～ 9月30日

4ヶ月目 ミッケルアートを使わずに、普段の様子を8日分、記録します

月/日	観察開始時間	観察時間(分)	その時の具体的な様子や場面	影響を与えていると考えられること	評価対象者の願い 支援してほしいこと
/	10:00	20	●体操に参加されている。	○笑顔で穏やかに過ごされる事が増えてきた。	●楽しく過ごしたい。
/	10:00	20	●体操に参加されている。	○笑顔で穏やかに過ごされる事が増えてきた。	●楽しく過ごしたい。
/	16:00	20	●「もうちょっとしたらご飯、楽しみやわ」	○笑顔で穏やかに過ごされる事が増えてきた。	●楽しく過ごしたい。
/	14:00	20	●「皆上手に歌とてるね」カラオケに参加される。	○レクにも積極的に参加される様になった。	●楽しく過ごしたい。
/	10:00	20	●食事の移動まで穏やかに過ごされる。	○笑顔で穏やかに過ごされる事が増えてきた。	●楽しく過ごしたい。
/	16:00	20	●「あんた、今来たんけ」職員が来たのを見つけて声をかける。	○ミッケルアートを通じて関係性が深まった為。	●楽しく過ごしたい。
/	16:00	20	●「もうすぐ晩御飯やな、今日は何やる」	○笑顔で穏やかに過ごされる事が増えてきた。	●おいしいものを食べたい。
/	10:00	20	●「あら、お元気ですか」職員を見かけて声をかけて下さる。	○ミッケルアートを通じて関係性が深まった為。	●楽しく過ごしたい。
			会話・行動を記録します	その原因を考えます	改善点を考えます

記録方法

- ・文章の始まりには、次の記号をつけます
- ・●評価対象者が言ったこと、△家族が言ったこと、○ケア者が気づいたこと

見本 『 評価を書く 』

★評価予定日に、必ず受講者が評価します。(予定日は、2日位前後しても構いません)

		○回目の評価	1	2	3	4
		評価予定日	4/30	5/29	7/30	8/30
		評価実施日	4/30	5/30	7/30	8/30
意識	①開眼・覚醒 ②刺激に対する反応 ③考えること 疲れやすさ		-	-	-	-
感情	①自発性 ②喜怒哀楽 ③感情制御		-	-	-	-
注意	①注意 選択・持続 ②注意 分配・制御		-	-	-	-
記憶	①日常生活上 記憶能力 ②予定記憶		-	-	-	-
判断	①長期的な影響を考慮した判断・問題解決能力		-	-	-	-
病識	①疾病・障害・能力 理解 ②深刻性理解や、残存能力利用 ③環境適応		-	-	-	-
合計点			0	0	0	0



評価点	評価
5点	良好
4点	軽度
3点	中等度
2点	重度
1点	最重度



見本 『 総合評価をする 』

Q.1 コミュニケーションは、どのように変化しましたか？

- ・ 事前評価期間 は、
 - ・ 朝9時、ウトウトと居眠り、夜間はベッド上で動き、朝まで眠れず不眠傾向がある。
 - ・ その場での受け答えは可能であるが、話のつじつまの合わない場合がある。
- ・ 1ヶ月目～3ヶ月目のミッケルアート実施日 は、
楽しそうに会話することが多く、いきいきとした表情で過ごしていた。
- ・ 1ヶ月目～3ヶ月目のミッケルアート実施しない日 は、
日に日に穏やかな表情を浮かべる様になり、日常的に楽しく話す様子が増えた。

Q.2 趣味趣向について、どのようなことがわかりましたか？

- ・ やりたいこと 楽しい事
- ・ 食べたい物 美味しい物
- ・ 行ってみたい場所 聞きだせず
- ・ 大切にされていること 子どもの事

Q.3 ミッケルアートを使うときに、心がけていることや、工夫されていることは？

できるだけ笑顔で接し、会話が広がりやすい質問をして、楽しい場を提供できるように行いました。

Q.4 認知機能は、どのように変化しましたか？

日中に活動的になり、良眠できるようになった。

Q.5 自由記述（感想や気づき）

今後も継続して実施する中で、ご利用者の生きた軌跡に目を向けて、細かなニーズの把握に努めていきたいです。

認知関連行動アセスメント (CBA)

氏名 ()

検査日 ()

■ 評価点

意識	感情	注意	記憶	判断	病識	合計

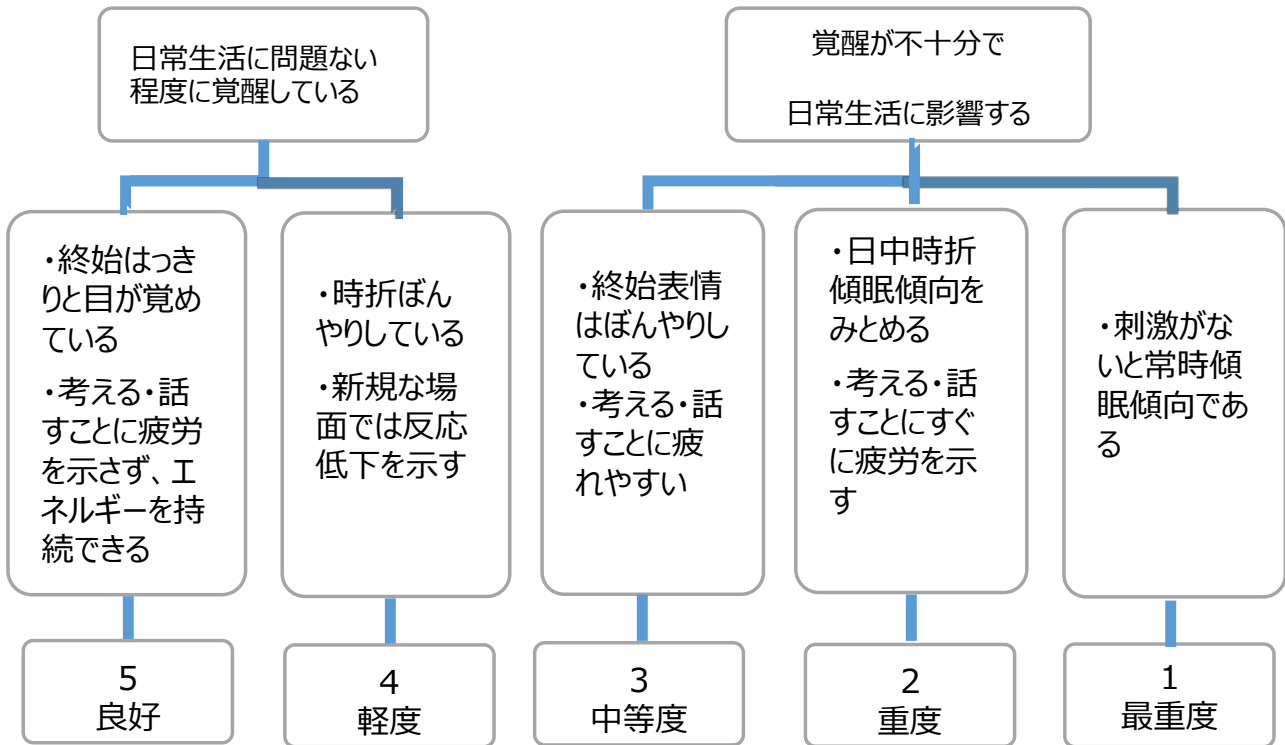
■ 重症度

最重度	重度	中等度	軽度	良好
6-9	10-15	16-21	22-27	28-30

■ コメント

意識

覚醒	目がさめている、眠そうだったり、ぼーっとしていない
易疲労性	考えることに疲れることなくエネルギーを持続できる



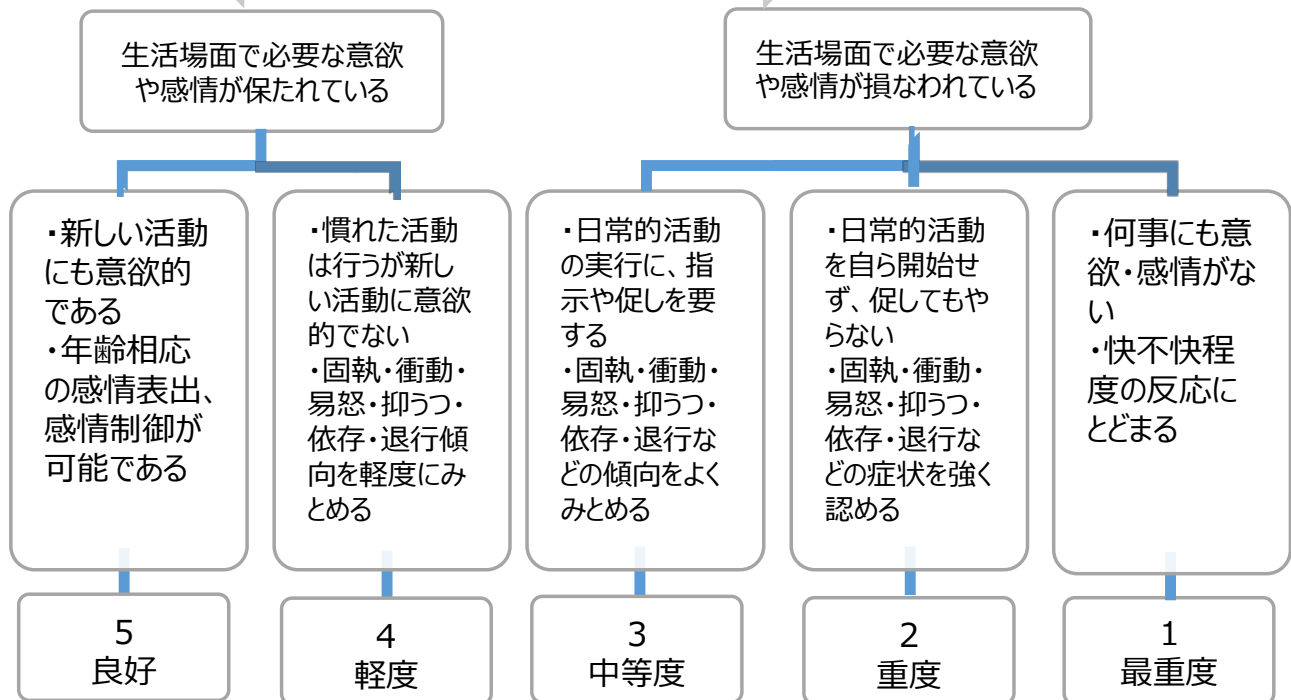
感情

意欲・自発性	自分から行動したり話したりできる
感情表出	年齢相応の喜怒哀楽が保たれている
制御	年齢相応に感情をおさえることができる

明らかな違和感なし・少ない

明らかな違和感あり

*もともとの性格を含めて評価する



注意

選択・持続

対象に注意を向け持続することができる

分配・転換

注意を多方向に向け、同時に2つ以上の作業が行える

IADL

ADL

運転、料理、パソコン操作、入浴などの活動の様子から判断

用意された食事・整容、会話、運動障害が軽度の場合の歩行などの活動の様子から判断

細かい作業、複数の手順の活動が可能である

単純な作業、単一の活動しか行えない

- ・2つ以上の作業を同時に行うことができる
- ・作業中、他の刺激に反応し、適切にもとに戻ることができる

- ・2つの作業を同時に行くと若干成績低下がある
- ・過集中を認め、他の刺激に反応できないことがある

- ・1つの単純な作業を最後までやり終える
- ・干渉刺激が多くなるほど気が散る
- ・途中からエラーが増える

- ・干渉刺激があると必要な対象に注意を向けることができない
- ・1つの作業をすぐに中断してしまい持続できない

- ・必要な刺激に注意を向けることがほとんどできない

5
良好

4
軽度

3
中等度

2
重度

1
最重度

記憶

エピソード記憶

少し前、数日前のできごとをよく覚えている

展望記憶

予定や約束をよく覚えていて思い出すことができる

生活に必要な記憶が保たれている

生活に必要な記憶が保たれていない

- ・2~3日前の出来事想起が概ね正確である
- ・予定や約束事を忘れることは少なく、問題とならない

- ・当日中の出来事は正確に思い出せるが、それ以前の記憶は不正確である
- ・予定や約束事をたまに忘れてしまう

- ・当日中の出来事を一部思い出せるが、細部があいまいで間違っている
- ・予定や約束事を忘れることが多い

例) 朝来客があったことを覚えているが、誰だかが間違っている

- ・当日中の出来事想起がほとんどできない
- ・予定や約束事を覚えておくことがまったくできない

例) 直前にご飯を食べたことは覚えているが、すぐ忘れてしまう

- ・少し前の出来事を想起することができない
- ・作話や記憶の混同を顕著に認める

例) 直前にご飯を食べたことを覚えていない

5
良好

4
軽度

3
中等度

2
重度

1
最重度

判断

自制的判断

目先の利益に惑わされず長期的な状況を考慮して判断できる

「判断」を評価できる場面を作る、あるいはスケジュールや予定を利用する
 例) 外泊の際、したいことは何か尋ねる
 例) リハ担当者に伝えたい希望があるか尋ねる

生活場面で適切な判断ができる

生活場面で適切な判断ができない

・数年後の長期的な予測のために、必要な情報を考慮した判断、問題解決を行うことができる

・ある程度近い将来を見越した判断が可能だが、自分中心、あるいは他者依存傾向をみとめる

・しばしば場面依存的、近視眼的な問題解決をおこない、トラブルとなる
 ・わかっていることには自分なりの判断や主張がある

・しばしば即時の感情に依存した問題解決をおこなう
 ・生活上ごく部分的な判断のみ自力で行える

・しばしば物品依存的な問題解決をおこなう
 ・生活上適切な判断を行うことはできない

5
良好

4
軽度

3
中等度

2
重度

1
最重度

病識

障害理解	自分に生じた病気、障害、能力を理解し、できることできないことがわかっている
適応	自分の残存能力を理解し、環境に適応できる

「病識」の評価は、観察か会話で行う
 観察の例) 自分の能力を考慮した行動をしているかどうか
 会話の例) 「今お困りのことは何ですか」「～は一人でできそうですか」
 などへの返答から、自分の能力をどう感じているのかを探る

病気・障害をよく理解し、環境に適応して生活できる

病気・障害を理解できず、環境に適応できない

・自己の病気、障害、能力をよく認識している
 ・残存能力を有効に活用し、環境の変化に自ら工夫して適応できる

・自己の病気、障害、能力を概ね理解し、深刻性の認識がある
 ・残存能力活用が十分でない

・自己の病気、障害、能力の認識は大まかであり、深刻性に乏しい
 ・よく整えられた環境にしか適応できない

・自己の病気、障害をごく大まかにしか認識できない
 ・よく整えられた環境下にあっても周囲の援助を必要とする

・自己の病気、障害、能力を、全く認識していない
 ・よく整えられた環境でも、全面的援助が必要である

5
良好

4
軽度

3
中等度

2
重度

1
最重度

